

英字新聞で広がる英語学習

最新ニュースを使った学びと Worksheet のご紹介

2026年1月31日（土）

オンライン（Zoom）開催

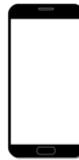
株式会社ジャパンタイムズ出版

ESIBLA

Zoomミーティングを準備
当日10時にチケット購入者へ視聴情報を送付



Zoom



視聴者

視聴情報を確認後、視聴したいZoomミーティングへアクセス（ブラウザ/アプリから）
各ウェビナーを視聴する

主管者

開催者から「共同ホスト」として登録
当日は登壇するZoomミーティングへアクセスし、登壇時刻に自身のPCからプレゼンテーション

開催概要

◆タイトル

英字新聞で広がる英語学習

最新ニュースを使った学びと Worksheet のご紹介

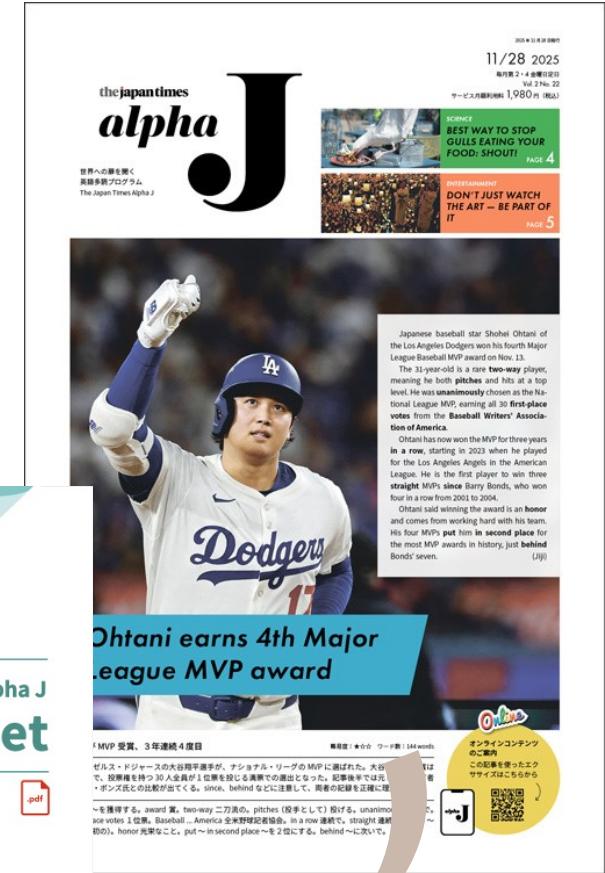
◆開催概要

本セミナーでは、学習者向け英字新聞『The Japan Times Alpha J』編集長の高橋（CMA全国大会審査員）と、早稲田大阪高校の米田謙三先生を講師に迎え、**英字新聞の教育的価値と授業での活用方法をご紹介**します。

前半では、高橋編集長が、英字新聞という「素材」が持つ価値に着目し、中高生に向けた英文の工夫や記事テーマの選定ポイントを解説。編集の視点から、記事が授業の中でどう活きるかお伝えします。

後半では、米田先生が、英語ニュースを授業に取り入れる具体的な方法や指導上の工夫を、実践例とともにご紹介します。あわせて、英字新聞を通して学習者にどのような力が育つか、生徒の成長エピソードを交えながら、教育現場での活用イメージを共有します。

最後に、**英語ニュースをさっと授業に取り入れていただくための先生向け新教材「The Japan Times Alpha J Worksheet」**について、その全貌をいち早くお届けします！



2026年4月リリース

◆参加特典

- ▶ 2026年4月リリース予定の『The Japan Times Alpha J Worksheet』見本をプレゼント

▶ モニター校も募集中

Worksheetをご活用いただき、ご意見・ご感想をお寄せいただける場合、
Worksheet を1年間無償でご利用いただけます。

※ 応募方法：ウェビナー中、スライドに記載のQRコードを読み取り、
お申し込みフォームにご入力のうえご応募ください。

◆開催日時 2025年1月31日（土）13:00～14:30

◆開催形態 オンライン（Zoom）

◆お申し込み方法 下記URLよりお申し込みください。

<https://forms.gle/61yQc5Jm6izFZoWy9>

参加費・視聴料は無料です。

ご登録いただきますと、電子メールにてZoomのアクセスコード、
URLなどをお知らせします。



The Japan Times Alpha J Worksheet

Vol. 0

AIで空き家かどうかを判定、
国交省のシステム

TECHNOLOGY / SPORTS

5

 Government creating AI to detect vacant houses

全国的に空き家の増加が問題となる中、国土交通省は水道の使用状況や住居基本台帳、登記簿といった情報をもって、建物が無人である確率をAIで判定するシステムを開発している。水道や電力事業者からの情報も合わせることで、さらに正確性が増すという。このシステムの詳しい内容を理解しながら読み進めよう。

Japan's infrastructure ministry is creating an AI system to detect vacant houses. The system uses data like water usage, resident records, and property registries. For example, an old house with low water use and one elderly member may be labeled as vacant.

Some vacant houses are difficult to identify from the outside. The goal of the new system is to find them early on. This way, they can be put up for sale or rent. Sometimes, they may need to be demolished.

The number of household members and their ages are included in basic residential data. The age of properties can be learned through real estate registries. The new system combines this information to estimate vacancy.

Accuracy improves by including water and power usage data for individual households. Results are shown as percentages for each property.

空き家検定システムについて説明する国土交通省の構成

ポイント解説
名詞の語尾

the japan times 出版



数ヶ月以内に発行された『Alpha J』からニュースを厳選。
背景知識と生きた英語表現を同時に育成する設計！

13 : 00
～
14 : 30

セッション

【タイトル】

英字新聞で広がる英語学習

最新ニュースを使った学びと Worksheet のご紹介

登壇者① The Japan Times Alpha J 編集長・高橋敏之

国際ニュースや学習コラムの制作に携わり、企業・大学での英語研修・講演も実施。英字新聞を活用した英語教育の普及に取り組む。CMA全国大会審査員。

登壇者② 早稲田大阪高等学校 教諭・米田謙三

地歴公民科・英語科・情報科教員。情報科の学習指導要領策定にも携わる。ICTを活用した効果的な教育と協働学習を専門とする。教育の情報化や教科横断型に関する実践と研究をもとに授業を実施。「The Japan Times Alpha J Worksheet」監修。

登壇者③ Alpha マーケティング販売部・岩脇のぞみ (Worksheet 開発担当)

株式会社ジャパンタイムズ出版 Alpha 事業局所属。「The Japan Times Alpha J Worksheet」の開発担当。

教科書を超えた学びとは

登壇者

高橋敏之 The Japan Times Alpha J 編集長

講演概要

本講演では、編集長の視点から、英字新聞という“素材そのものの価値”を中心に紹介します。中高生向けに英文自体は読みやすくリライトするものの、たとえ難解な語句でも時事問題を読み解くために必要なものは敢えて変えずに残したり、勉強であることを忘れて楽しく読める記事を選定したりなど、紙面作りの工夫を解説します。

普段はなかなか聞く機会の少ない、編集者の視点や実践を学べる貴重な機会です。

プロフィール



英語学習者向けの英字新聞『The Japan Times Alpha／Alpha J』編集長
慶應義塾大学卒業後、予備校英語講師、英語教材編集者を経て、2007年にジャパンタイムズ入社。『週刊ST』（Alphaの前身）編集部で国際ニュースページや英語学習コラムの執筆等を担当し、2012年より編集長を務める。
CMA全国大会審査員。企業・大学等での英語研修や講演も多数実施

授業での英語ニュースの活かし方

登壇者

米田 謙三 早稲田大阪高校 教諭

講演概要

本講演では、先生の立場から、英語ニュースを授業に取り入れる具体的な方法や工夫ポイントを紹介します。ニュースを単に読むだけでなく、理解から発信までの学びを通して、学習者が主体的に考え、表現する力を育む授業設計を解説します。さらに、社会とのつながりを意識した教科横断的な学びの工夫や、授業への落とし込み方、指導のポイントについても具体的に紹介します。

加えて、実際の授業実践のリアリティを交え、参加者が自分の授業での活用イメージを描きやすい内容となっています。

プロフィール



神戸大学卒業。英語・情報・地歴公民の教員免許を持ち、教育の情報化や教科横断型の実践・研究をもとに授業を行う。各地で教育セミナーや研修会の講師を務め、産学連携委員や文部科学省委託事業関連の委員なども兼任。「The Japan Times Alpha J Worksheet」監修

～ご参考～

これまでのESIBLA教育フォーラム

これまでのESIBLA教育フォーラム

年度	回次	テーマ	開催日	会場
2024年度	第9回	高校生の留学を成功させるための実践的アプローチ	2024年12月14日	オンライン開催
	第8回	英語教育と生成AI	2024年10月12日	オンライン開催
2023年度	第7回	AI時代の英語教育のあり方	2023年6月24日	オンライン開催
2021年度	第6回	2022年度・新学習指導要領実施で英語授業はどう変わる？	2022年1月29日	オンライン開催
	第5回	ニューノーマルのPBL～ポストコロナにおける課題探究型学習～	2021年10月16日	オンライン開催
2020年度	第4回	2021年の英語授業実践	2021年1月9日	オンライン開催
	第3回	With/After コロナ時代の探究学習	2020年8月22日	オンライン開催
2019年度	第2回	探究学習の最前線	2019年12月22日	聖徳学園中学・高等学校
	第1回	英語4技能の授業実践	2019年8月31日	JASSOプラザ平成

第8回ESIBLA教育フォーラム 開催概要

◆タイトル

英語教育と生成AI

◆開催概要

生成AIが英語教育にどのように活用されているかについて、概念と実践の両面から探ります。

◆開催日時

2024年10月12日（土）13：00～

◆開催形態

オンライン（Zoom）

◆参加費・視聴料

無料

◆プログラム

13 : 00 ～ 13 : 45	基調講演 英語教育と生成AI：可能性と課題 ・・・田中 茂範 先生（慶應義塾大学名誉教授）
14 : 00 ～ 14 : 45	セッション1 生成AIを活用したこれからの授業の考え方とつくり方 ・・・豊嶋 正貴 先生（國學院大學教育開発推進機構兼任講師）

英語教育と生成AI：可能性と課題

登壇者

田中 茂範 先生

講演概要

学校英語教育を取り巻く環境は大きく変化し、教室空間内だけで英語指導を完結するという考え方から、オンライン英会話や生成AIの台頭により、教室の空間を外に開くという考え方へシフトしている。ここでは、生成AIの可能性とその課題について、理論・実践の両面から議論を進めていきたい。生成AIを教育の中に位置づけるには、まず、生成AIの特徴を明らかにしなければならない。その際の留意点をまとめると、(1)生成AIはもっともらしいが間違った情報を含んだ内容を生成するだけでなく、間違いでなくともバイアスがあることから生成された内容を鵜呑みにすることはできないということ、(2)人間の生きるコンテクストと生成AIが依拠するコンテクストは異なるし、また本来的な意味で生成AIは人間のように「理解」することはできないこと、(3)生成AIには「業務遂行機能」と「情報提供機能」があるが、教育で注目すべきは「情報提供機能」のほうであり、情報をいかにして有用なリソースに変えるかがポイントになること、(4)その際、生徒側の制作力、比較力、評価力が大切になることが含まれる。これらのこと考慮したうえで、生成AIを効果的に使うために大切なことは、英語教育の目標である確かな英語力を育てる全体像に生成AIを位置づけることである。この発表では具体的な事例を取り上げながら、議論していく。

プロフィール



田中 茂範 (たなか しげのり)

コロンビア大学大学院博士課程（教育学博士）

茨城大学 1984-1989 慶應義塾大学 1990-2018 を経て慶應義塾大学名誉教授、インターナショナルモンテソーリミライキンダーガーテンの名譽園長を務める。専門：言語論、意味論、英語教育、探究学習。100冊以上の書籍の出版、120本以上の論文を執筆。現在、学校で、探究学習と英語学習のカリキュラム開発、教材開発を行っている。

生成AIを活用したこれからの授業の考え方とつくり方

登壇者

豊嶋 正貴 先生

講演概要

生成AIを活用したこれからの英語授業の考え方と作り方について、具体的な提案を行います。はじめに、生成AIの基本と教育現場での応用方法、特に生成AIを活用して個別最適な学びを実現する方法、教材作成や試験問題作成の方法、評価の自動化など、教師の業務を効率化する手法をご紹介します。また、生成AIを活用したスピーキング練習、ライティング指導、アウトプット活動に対するフィードバック生成を通じて、生徒の学びをさらに深める授業モデルを提案します。さらに、生成AIの導入に伴う課題や倫理的な問題にも触れ、プライバシー保護や教育の質とのバランスを考慮しながら、英語教育の未来がどのように進化していくかを展望します。

プロフィール



豊嶋 正貴（としま まさたか）

埼玉県出身。國學院大學教育開発推進機構 兼任講師 他。NHK高校講座「英語コミュニケーションⅢ」講師。大修館書店『英語教育』「生成AI活用術研究所」（連載中）関西大学大学院外国語教育研究科博士課程前期課程修了。英語授業研究学会理事、ELEC同友会英語教育学会理事。文部科学省検定中学校教科書『NEW HORIZON English Course 1・2・3』（東京書籍）編集委員、文部科学省検定高等学校教科書『NEW FAVORITE Logic and Expression』『Power On』（東京書籍）編集協力、『コミュニケーションのための総合英語』（共著、朝日出版社）ほか。文教大学付属中学校・高等学校を歴任、同校進路指導部長として、平成30（2018）年度「第12回キヤリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」受賞

お問い合わせ

一般社団法人 英語4技能・探究学習推進協会

〒108-0014

東京都港区芝5丁目14-13 アセンド三田7階

TEL: 03-4405-3630

FAX: 03-5432-9907

MAIL: info@esibla.or.jp

▷ Change Maker Awards

<https://esibla.or.jp/change-maker-awards/>

▷ ESIBLA教育フォーラム

<https://esibla.or.jp/esibla-forum/>

▷ 一般社団法人英語4技能・探究学習推進協会HP

<https://esibla.or.jp/>

▷ 探究学習白書

<https://esibla.or.jp/inquiry-based-learning-white-paper/>

お気軽にお問い合わせください。